

朱雀第八学区

中京マチビトCafé
～取組のその後～

人にやさしい防災

朱雀第八学区での
地域防災の経験を活かして、
防災の大切さを広める

土井 廣明 さん
朱雀第八学区自治連合会会長

取組に協力した中京マチビトCafé 参加者
太田興さん（防災士、防災寺子屋・京都、朱八地域自主防災会専門協力員）
森下真紀さん（特定非営利活動法人 暮らしのデザイン研究所）



朱雀第八学区で精力的に地域防災活動に取り組む土井さん。
震災などのいざという時を見据えて、日頃から住民間でコミュニケーションをとっておくことや、防災訓練に取り組むことの大切さを中京マチビトCaféで伝えられています。

土井さんは、中京マチビトCaféでのつながりを活かし、テーブルをともにしたメンバーと協力して防災の大切さを伝える取組もされています。
1つは、同学区に住む太田さん（防災士）と協力した、「防災寺子屋」の取組です。地震の規模を数字ではなく、ドラム缶や牛乳瓶の水の量に例えるなど、太田さんは、きく人（小学生など）の記憶に残る伝えられ方をされています。

もう1つは、朱八地域自主防災会メンバーなどを対象とした「避難所運営」についての勉強会です。テーマは、「誰にとっても安心・安全な避難所をつくるために」。発達障害に詳しい森下さん（中京まちづくり仕掛け人講座修了生）を講師に招いて、高齢者から子ども、さらに、発達障害の方に配慮した避難所運営や環境づくりを学ぶ機会を提供されています。



防災寺子屋の様子



講師を務める森下さん

取組んでみてのご感想

すべての人に関連している事柄として防災をテーマに取り上げてきましたが、京都は災害の無い町との認識がまだまだ強いと感じました。関心を示していただき集まってはもらえるのですが、身近な問題として一緒に進めていただける方がまだ少ないように感じます。私たちのアピール不足かと反省しますが、“明日は我が身”をもっと広めたいと思います。



土井 廣明 さん